

# 民主島根

2024年  
**2.25**  
第1443号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## 出雲 第90回島根県党会議開く 衆院選で共産党躍進必ず 大平 衆院比例中国から衆院予定候補が決意

日本共産党の大平よしの衆院中国比例予定候補は18日、出雲市で開かれた第90回県党会議であいさつしました。

大平氏は、中国地方は金権腐敗でも原発でも、自民党の悪政の根源というべき地域だと訴え、「自民党政治を終わらせるためにたいを起こし、総選挙で議席を奪還したい」と決意を述べました。



第29回党大会に参加した、むらほえりこ衆院島根1区予定候補、亀谷優子同2区予定候補も決意表明。上代善雄県委員長が党大会決定を確信にし、来たる総選挙での躍進と世代的継承を中軸に据えた強く大きな党をつくる「県総合計画」を提案し採択しました。地方

### 工業用地造成調査の補正予算 尾村県議が質疑、大國県議が反対討論

（株）出雲村田製作所が安来市に新工場を設置することを巡り、県議会は14日の本会議で工業用地造成のための調査等を県が実施する補正予算を可決しました。日本共産党県議団（2名）と無党派（1名）が反対しました。

日本共産党県議団の大國陽介県議は、優良で広大な農地を転用し、大規模に開発することは周辺環境に大きな影響を及ぼすと指摘。地質調査等の結果、予定地が工場立地に適さず、事業中止になった場合、県が最大4億7千万円余を肩代わりすることも問題視し、「大企業



調査する(左から)向田、尾村、大國の各氏



住民から意見を聞く県議団と向田氏

### 衆院島根2区予定候補 亀谷 優子さんを発表

日本共産党島根県委員会は15日、次期衆院選島根2区に党大田市議の亀谷優子氏（37）を擁立すると発表しました。亀谷氏は会見で「国民



の苦しみを打開し、誰もが希望を持って暮らせる社会にするため、県民のみなさんと力を合わせて自民党政治を終わらせた」と決意を述べました。

亀谷氏の略歴◆1986年生まれ◆高知大学人文学部社会経済学科卒業◆2008年、大田市にインターンし農場勤務。2018年4月、大田市議初当選（現在2期目）。党県常任委員◆大田市在住。

### きれいな政治を一緒に 松江むらほえり氏、党県議団、市議団らが宣伝

むらほえりこ衆院島根1区予定候補は16日、松江市の商店街前で尾村利成、大國陽介の両県議、舟木健治、橘ふみ両市議、岩田剛東部地区委員長らと一緒に宣伝しました。能登半島地震の救援募金も呼びかけました。（写真）

むらほえり氏は、岸田政権がわずか2年間で軍事費を1・5倍、2・5兆円も増額しようとしていること、対話の外交をすすめる党の「外交ビジョン」を紹介し、「命が大切にされる政治に変えていこう」と呼びかけました。尾村氏は「自民党派閥



業いなりゆがみが露骨に表れている」と批判。「産業振興は農林水産業を中心に、地場産業、中小企業の振興にこそ軸足を置くべきだ」と強調しました。

本会議に先立って開かれた防災地域建設委員会と農林水産商工委員会の連合審査会（23年ぶり

の開催）で、尾村利成県議は「これまで出雲村田製作所1社に延べ10回、総額94億円もの企業立地促進助成金が交付されている。労働力が減少するもと、雇用の奪い合いなどで地場企業への悪影響は避けられない。莫大な助成金を受け取っている誘致企業は社会的責任を果たす必要がある」と指摘しました。



### 鼓動

「野音」として知られる東京都立日比谷公園大音楽堂（千代田区）が昨年、開設から100年を迎えた。

数々の伝説を生んできたが、老朽化のため、解体と建て替えが決まり、2024年10月から使用休止になる▼野音は1923年7月に開設。開設からわずか2カ月後に発生した関東大震災を乗り越え、戦後2度の改築を経て、現在の野音が3代目。前回の工事から40年が経ち、都が建て替えを決定した。戦後は60年安保闘争を機に政治集会での利用が増え、春闘やメーデーでも定番の会場となり、60年代後半からはロックやフォークのコンサートも盛んになった▼「日本の音楽堂」「市民の幸福はこの音楽堂から」。落成式が行われた様子を、当時の新聞各紙はこのように報じ、「森のような木々」「大空の下にゆったりと音楽を楽しむのにふさわしい」と記されている▼野音を含む都立日比谷公園の再整備計画を巡っては、園内の樹木への影響から見直しを求める声も上がっている。公園の元管理所長の高橋裕一さんは「剪定など樹木への影響が少ない形にするべきだ。歴史ある緑を後世に残してほしい」と語る▼都の再整備の基本方針は「歴史を継承し『これからの100年』にふさわしいデザイン」「開放感を維持することを前提にステージと観客席前方に屋根を設置する」などと明記。オフィスビルや公園の緑に囲まれた独特の開放感、舞台から音がどこまでも飛んでいく感覚……。歴史を感じられる建物にして、次の100年も愛される「4代目」となしてほしい。（遠）